

【総領事館からのお知らせ：独立記念日に際しての警戒強化】

平成28年8月15日（総16第18号）

在デンパサール日本国総領事館

1 9日、インドネシア国家警察は、8月17日の独立記念日に際してテロ攻撃の可能性があるため、国内の複数の地域の警備を強化する旨発表しました。昨年の独立記念日前には、中部ジャワ州ソロ（スラカルタ）において教会や仏教施設に対するテロを計画していたとして、数人が逮捕されました。

2 つきましては、インドネシアに渡航・滞在される方は、引き続き、最新の関連情報の入手に努めるとともに、十分な安全対策を行い、テロ事件等不測の事態に巻き込まれることのないよう、特別の注意を払ってください。また、テロの標的となりやすい場所（警察・政府・軍関係施設、外国人が多く集まる観光・リゾート施設、ビーチ、デパートや市場、公共交通機関、宗教関連行事（金曜礼拝を含む）・施設等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努めてください。

3 また、本件につきましては、外務省海外安全ホームページにも「海外安全情報(スポット情報)」が掲載されておりますので、あわせてご参照ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2016C218>

4 海外渡航前には万一来に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え、必ず在留届を提出してください。

（<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>）また、3か月未満の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、「たびレジ」に登録してください。（詳細は<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> 参照）

以上